



平成 29 年 10 月 18 日

静岡県庁社会部
各報道機関 御中

国立大学法人静岡大学長 石 井 潔
国立大学法人静岡大学
地域創造学環長 平 岡 義 和

静岡大学地域創造学環 平成 29 年度後期フィールドワークの実施について

本学に平成 28 年度から新設された「全学学士課程横断型教育プログラム」地域創造学環は、地域が抱えるさまざまな問題に対し、その解決策を提案し、さらにそれを実現できる人材を養成することを目的としております。

カリキュラムの柱である「フィールドワーク」を、後期から 1 年生も加わり、2 学年合同で、県内全域で 13 地域・15 テーマで実施します（3 地域・4 テーマは新設）。ぜひ取材をよろしくお願いたします。

なお、ご不明な点は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【実施内容（予定）】

※詳細スケジュールは別紙「各フィールドワークの実施予定内容」参照。

※地域創造学環では地域創造学環ホームページ内に「学生ブログ」を開設し、各フィールドの活動の様子を随時発信しています。ぜひご覧ください。

地域創造学環ホームページ <http://www.srd.shizuoka.ac.jp/>

地域創造学環学生ブログ http://www.srd.shizuoka.ac.jp/fw_blog/

お問い合わせ先

部局名 静岡大学地域創造学環

担当者 フィールドワークオフィス 平井・大石

TEL 054-238-4256（土・日・祝除く 9～17 時）

メールアドレス fieldwork@adb.shizuoka.ac.jp

各フィールドワークの実施予定内容

平成 29 年度後期フィールド テーマ一覧

| フィールド名 | フィールド テーマ |
|---|--|
| 静岡市 清水港周辺地域 | 行政や地元商店街と考える「おもてなし」と「情報発信」のあり方 ～清水港周辺～ |
| 静岡市 庵原地区 | 庵原地区の地域資源を活かしたスポーツと食による「健康長寿のまちづくり」 |
| 静岡市 東静岡駅前 | アートとスポーツによる東静岡地区の賑わい創出 |
| 静岡市 駒形通 4 丁目商店街 | 駒形通りのにぎわい創出 |
| 静岡市 浅間通り商店街 | 浅間通りのにぎわい創出 |
| 焼津市 浜通り | 浜通りの町並み保存と観光資源化 ～浜通りフォーラムを母体とした地域再生の実践～ |
| 浜松市 浜松文芸館 (公益財団法人 浜松市文化振興財団) | 若者の文芸離れを食い止めよう～浜松文芸館～ (浜松市文化振興財団) |
| 佐久間 | 中山間地域の地域再生実践～佐久間地域～ |
| 田園空間博物館 とうもんの里 (横須賀地区) | 「田園空間博物館とうもんの里」の産地直売運営と交流人口拡大 |
| 松崎町商店街 | なまこ壁が残る商店街の賑わい創出 |
| 松崎町観光と防災 | 伊豆・松崎町の防災と観光の両立 |
| 新 東伊豆町 | 東伊豆町の新しい観光スタイルの発掘・創出プロジェクト |
| 新 伊豆半島ジオパーク (環境) | ジオパーク資源の環境モニタリングと保全方策 |
| 新 伊豆半島ジオパーク (教育) | ジオパークガイドと連携して開発するジオパーク教育プログラム |
| 新 静岡県社会福祉協議会 (県営団地) 静岡県内各地 | 県営住宅団地における居場所づくりと地域福祉資源のネットワーキング |

新フィールドの活動予定

※日程の決定や進行状態はフィールドごとに異なる

| | |
|--------|---|
| フィールド名 | 東伊豆町 |
| テーマ | 東伊豆町の新しい観光スタイルの発掘・創出プロジェクト |
| 概要 | <p>■地域の背景</p> <p>東伊豆町の主産業は観光である。東伊豆町観光協会が観光客に行ったアンケートによると地域内に旅館以外の観光資源が少ないという声が多く、町では旅館以外の観光資源の模索が課題となっている。</p> <p>■平成 29 年度後期フィールドワーク について（10 月～2 月）</p> <p>平成 29 年度後期は地域視察、町内観光関係者へのインタビュー、町内活動への参加、NPO 企画に参画、勉強会の実施等を行い東伊豆町に詳しくなることを目標とし、観光資源のあり方について理解を深める。</p> |
| 今後の予定 | <p>① 11/11(土)、12(日) キックオフ 地域調査①</p> <p>② 12/2(土)、3(日) 町内視察・イベント参加 地域調査②</p> <p>③ 1/20(土)、21(日) 経過報告会・地域調査③</p> |

| | |
|--------|---|
| フィールド名 | 伊豆半島ジオパーク（環境） |
| テーマ | ジオパーク資源の環境モニタリングと保全方策 |
| 概要 | <p>ジオパークは価値ある大地とそこに派生する自然・社会資源の保全と活用を通じて地域振興を図る国際プロジェクトである。伊豆半島の 7 市 8 町と静岡県は伊豆半島ジオパーク推進協議会を組織し（中央拠点施設と事務局は伊豆市内）、2012 年に国内ジオパークとして認定を受け、現在はユネスコの国際認定を受けるべく活動を展開中である。</p> <p>一方、伊豆市を含む伊豆半島は豊かな自然環境とそこに育まれたワサビなどの特産物を誇るが、近年それらはシカの食害によって植生や特産物は深刻な被害を受けている。また、観光客や野外活動の負荷による自然環境変化にも常に気を配っていく必要があるが、そうした自然環境のモニタリングは必ずしも十分でないため、対策も十分な効果を発揮できていない。</p> <p>フィールドワークでは、伊豆半島ジオパーク推進協議会と協力して、伊豆市内の重要な自然環境資源のモニタリングを実施し、それらの分析と保全方策の立案に取り組む。</p> |
| 今後の予定 | <p>① 10/21(土)、22(日) 第 1 回 調査対象地域の自然・社会環境の概要を把握</p> <p>② 11/11(土)、12(日) 第 2 回 環境モニタリング方法の検討</p> <p>③ 12/9(土)、10(日) 第 3 回 環境負荷調査の実施</p> |

| | |
|--------|---|
| フィールド名 | 伊豆半島ジオパーク（教育） |
| テーマ | ジオパークガイドと連携して開発するジオパーク教育プログラム |
| 概要 | 伊豆半島ジオパーク推進協議会や伊豆半島ジオガイド協会と協力し、伊豆市内の地域資源の教育コンテンツ化を行い、教育プログラムを開発する。ジオパークの見学地であるジオサイトを中心としつつ、学生の視点による新たな資源の発掘や、最新のICTを用いた教育コンテンツ化を試みる。こうしたコンテンツを基に、地域のシニア層や学校教育を対象とした教育プログラムを開発する。公民館や博物館などで試行実践を行いその効果を検証した上で、ジオパーク教育プログラムを提案する。 |
| 今後の予定 | ① 10/21(土)、22(日) 第1回 調査対象地域の自然・社会環境の概要を把握 ② 11/11(土)、12(日) 第2回 地域住民のニーズ調査と教育プログラムの立案 ③ 12/16(土)、17(日)【調整中】第3回 教育プログラムの実施と評価 |

| | |
|--------|--|
| フィールド名 | 静岡県社会福祉協議会（県営団地） |
| テーマ | 県営住宅団地における居場所づくりと地域福祉資源のネットワーキング |
| 概要 | <p>県社会福祉協議会では、自治会・町内会など、居住者による居場所づくりが取り組まれている団地への支援を行い、特徴ある地域福祉活動が展開されるようになってきている。また、その中からいくつかの先進地域も見られるようになった。</p> <p>ただし、比較的居場所づくりに成功している団地でも、さらに多くの住民に開かれたものにするという課題が存在する。また、居場所づくりが困難な団地もある。福祉課題の解決には何が求められているのか。フィールドワークを通じて、課題を発見・分析し、住民と共に解決の糸口を探る。</p> |
| 今後の予定 | ① 10/21(土)、22(日)・・・七尾団地（熱海市）踏査 ② 12/23(土・祝)、24(日)・・・原団地（沼津市）踏査 ③ 日程未定・・・静岡市内もしくはその他市町の団地の踏査、次年度の計画作成 ④ 日程未定・・・次年度の計画作成 |

| | |
|--------|--|
| フィールド名 | 静岡市 清水港周辺地域 |
| テーマ | 行政や地元商店街と考える「おもてなし」と「情報発信」のあり方 ～清水港周辺～ |
| 概要 | <p>大型客船の寄港が増え、外国人観光客が増加している清水港。 観光資源のより魅力的な発信と、受け入れ体制の整備が必要となっている。また、少子高齢化が進むにつれ、まちの活性化が重要な課題となっている。</p> <p>担当する学生は、静岡市役所の「清水区まちづくり協働会議」と連携し、商店街、地元自治会とともに、地域資源の調査を行い、「外国客船寄港時用まち歩きマップ」の材料を抽出するとともに、今後「まち紹介パネル」の作成を行う予定である。</p> <p>また、まちの活気や賑わいにつなげるべく「清水港線跡自転車歩行者道」でのイベント企画の提案を行っている。</p> |
| 今後の予定 | <p>① 日時：10月21日（土） 10:30-14:30（12:00-13:00 昼休憩） 場所：静岡市 こどもクリエイティブタウンま・あ・る イベント名：ハロウィン特別企画★お菓子&仮装グッズをつくろう 清水区まちづくり協働会議×静岡大学地域創造学環×ま・あ・るの特別企画</p> <p>② 日時：10月29日（日） 12:00-18:00 場所：清水銀座商店街～ポケットパーク（清水港線跡自転車歩行者道） イベント名：ハロウィンさんぽ～トリック・オア・トリート～in しみず 主催：静岡市 協働：静岡大学地域創造学環、浜田地区連合自治会、清水地区連合自治会 協力：清水銀座商店街振興組合、公益財団法人静岡市まちづくり公社 以降の予定は今後決定</p> |

| | |
|--------|--|
| フィールド名 | 静岡市 庵原地区 |
| テーマ | 庵原地区の地域資源を活かしたスポーツと食による「健康長寿のまちづくり」 |
| 概要 | <p>庵原地区は、多種多様なスポーツで利用される清水ナショナルトレーニングセンターや清水庵原球場を有し、健康づくり（Health promotion）の拠点として期待されている。</p> <p>また、同地区はお茶やみかんを中心に多彩な農産物が栽培される農業地帯でもあることから、これらの地域資源を活かし、食と健康を組み合わせ、地域の付加価値形成を目指している。</p> <p>地域が目指すまちづくりの方針を踏まえて、庵原地区における生涯スポーツの普及促進及び移住促進の誘因となる魅力やセールスポイントを引き出し、地域の活性化及び情報発信をサポートする。</p> |
| 今後の予定 | <p>1月から行われるJリーグキャンプの日程に合わせ、ノルディックウォーキングのイベントの開催と、庵原地区ならではの食材を使用したスイーツの開発を目指す予定。</p> <p>日程は今後決定。</p> |

| | |
|--------|--|
| フィールド名 | 静岡市 東静岡駅前 |
| テーマ | アートとスポーツによる東静岡地区の賑わい創出 |
| 概要 | 平成28年5月にオープンした「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」を中心として、東静岡地区の賑わい創出を目標とした活動を行う。今期は「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」の認知度の向上と利用者の増加に向けて、地域住民や専門家への聞き取り、学生独自のイベント、広報の実施に取り組む。 |
| 今後の予定 | 10/14(土)「めぐりアート静岡」会期中にイベント①の実施。 その後の日程は今後決定。 |

| | |
|--------|---|
| フィールド名 | 静岡市 駒形通4丁目商店街 |
| テーマ | 駒形通りのにぎわい創出 |
| 概要 | 静岡市民の生活を支える商店街として機能してきた駒形通4丁目商店街。生鮮商品や生活雑貨を販売する商店が連なり、買い物客でにぎわっている。 商店街のにぎわいにつながるよう、各商店の聞き取り調査をもとに、商店街マップを作成中。 |
| 今後の予定 | 日程は今後決定。 |

| | |
|--------|--|
| フィールド名 | 静岡市 浅間通り商店街 |
| テーマ | 浅間通りのにぎわい創出 |
| 概要 | 静岡を代表する神社のひとつである、静岡浅間神社の参道に連なる浅間通り商店街は、参拝客などの観光客向け商店や近隣住民の生活用品を販売する商店など、多様な業態の商店が集まった商店街である。 フィールドワークでは、商店街のにぎわいを取り戻すための課題に取り組む。 商店街基礎データの作成、顧客への購買状況調査、商店街主催行事への参加(企画を含む)、先進地視察を行う予定。 |
| 今後の予定 | 10/8(日)長政まつり 参加 その後の日程は今後決定。 |

| | |
|--------|---|
| フィールド名 | 焼津市 浜通り |
| テーマ | 浜通りの町並み保存と観光資源化 ～浜通りフォーラムを母体とした地域再生の実践～ |
| 概要 | 住民主体による浜通り活性化の機運づくりを目的とし、8月にはあかり展での来場者調査と行灯製作を行った。今後は市民とのワークショップに参加しながら、交流拠点のグランドコンセプトならびに次年度以降の具体的な計画づくりに参画する。 |
| 今後の予定 | 日程は今後決定。 |

| | |
|--------|--|
| フィールド名 | 浜松市 浜松文芸館（公益財団法人 浜松市文化振興財団） |
| テーマ | 若者の文芸離れを食い止めよう～浜松文芸館～（浜松市文化振興財団） |
| 概要 | <p>浜松市や遠州地方ゆかりの文芸作家の業績を次世代に引き継ぎ、市民文化の向上を担う浜松文芸館。若者の文芸離れを食い止めるため、若者の来館者の増加をテーマに活動。</p> <p>担当する学生は平成27年に移転した文芸館所在地の認知度が低いことを検証し、チラシの配布を提案。若者に魅力が伝わるキャッチコピーやデザインの考案に取り組んできた。自分たちの作成したチラシを広く市民に配布しながら、今後は同館の若者向け講座の企画を進めていく予定。</p> |
| 今後の予定 | <p>① 10月26日(木)</p> <p>② 11月3日(金・祝)</p> <p>以降の予定は今後決定</p> |

| | |
|--------|--|
| フィールド名 | 佐久間 |
| テーマ | 中山間地域の地域再生実践～佐久間地域～ |
| 概要 | <p>過疎地域における交流人口の拡大や定住促進、そして、コミュニティの維持、存続をテーマとし、佐久間協働センターの協力の下、多様な主体や地域住民のみなさまと関わりを持ちながら、フィールドワークを実施する。</p> <p>最近では浜松湖北高校佐久間分校の文化祭に参加したり、生徒に卒業後の他出ニーズの調査を行った。また、佐久間電力館の利活用検討に参画し、交流人口拡大のための方策を検討している。</p> |
| 今後の予定 | <p>① 10/28(土)、29(日)</p> <p>② 日程未定</p> <p>③ 1/20(土)、21(日)</p> |

| | |
|--------|---|
| フィールド名 | 田園空間博物館 とうもんの里（横須賀地区） |
| テーマ | 「田園空間博物館とうもんの里」の産地直売運営と交流人口拡大 |
| 概要 | <p>広大な水田地帯の中心に立地するとうもんの里は、農産物直売所が併設された地域コミュニティの核となる施設。このとうもんの里を中心にした横須賀地区のまちおこしをテーマに活動。</p> <p>担当する学生は、とうもんの里の敷地内の設備の改良（遊具の設置、池の整備、看板の設置など）を行うとともに、集客増を目的としたイベントの運営や、とうもんの里の認知度を高めるための広報活動に取り組んでいる。</p> |
| 今後の予定 | <p>① 10/21(土)、22(日)</p> <p>② 11/11(土)、12(日)</p> <p>③ 12/9(土)、10(日)</p> |

| | |
|--------|---|
| フィールド名 | 松崎町商店街 |
| テーマ | なまこ壁が残る商店街の賑わい創出 |
| 概要 | なまこ壁が残る町並みの松崎商店街の賑わい創出をテーマに商店街経営者への聞き取り調査等を通じて、観光客の誘客促進に取り組む。 |
| 今後の予定 | ① 10/28(土)、29(日) ② 11/3(金・祝)、4(土) ③ 調整中 |

| | |
|--------|--|
| フィールド名 | 松崎町観光と防災 |
| テーマ | 伊豆・松崎町の防災と観光の両立 |
| 概要 | 津波の被害が想定される沿岸部において、防潮堤の建設と景観保全の両立をテーマとし、その市民集会等へ参加を重ね打開策を模索する。 |
| 今後の予定 | ① 10/28(土)、29(日) ② 11/2(木)、3(金・祝)、4(土) ③ 調整中 |

●問い合わせ先

国立大学法人 静岡大学

地域創造学環フィールドワークオフィス

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

TEL 054-238-4256 (土・日・祝除く 9~17時)

E-mail : fieldwork@adb.shizuoka.ac.jp